

地域インターンシップ（A）

2024 年度 事前ガイダンス資料（配布用シラバス）

授業概要

この授業では、自治体や公的機関、NPO・NGO、地域コミュニティ、ボランティア組織、大学など、地域社会を支えるさまざまな主体の活動を実際に体験する（インターンシップ）ことを通じて、社会人としての基礎力を高めることを目的とします。具体的には、自発的・自主的に地域社会活動に参画し、その体験で得た経験や知識、体験した活動の社会的な意義、そして体験が自身をどのように成長させたかなどを分析・評価し、それを第三者に伝えるという一連の過程により、目的の達成を目指します。

さまざまな地域社会活動への参画を中心とするこの授業は、本学科の教育目標である、「現代社会が抱える諸問題の解決に向け、グローバルからローカルに至る様々なところで他者とともに行動する能力を身につけること」の達成に向けた重要な一歩となります。

到達目標

この授業では、授業終了時に以下の3点に到達することを目標とします。

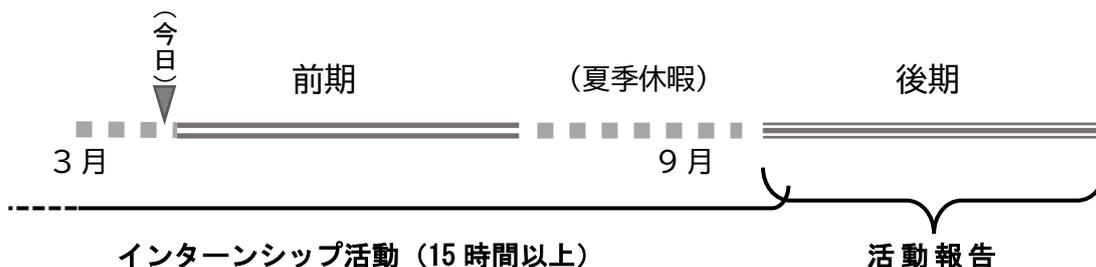
1. 自発的・主体的に実習に参加し、積極的に活動できる。
2. 地域社会を支えるさまざまな主体の現状やそれらが抱えている課題を説明できる。
3. 活動の趣旨や意義を踏まえて、自らがどのように活動したか、どのように貢献したかをプレゼンテーションで発表し、活動報告書を作成できる。

授業の進め方

【授業全体】

後期開講科目であるこの授業は、自主的・主体的な15時間以上の実習参加と、その体験にもとづく2種類の「活動報告」を中心としています。

そのため、原則として、開講期間にはすでに実習を経ている必要があります。履修者は前期の間に、つまりこの授業が始まる9月末までに、少なくとも、実習での活動をほぼ（8割程度）終えている必要があります。この点を踏まえて計画的に実習を行ってください。



【各授業回】

初回授業を除いて、各授業回では活動報告のプレゼンテーション発表を行います。授業時間の都合上、各回で7名か8名が発表することになります（履修者数により増減する可能性あり）。そのため、希望の日時に発表できるとは限らないことに留意してください。特に、授業の後半回（12月～1月）では発表希望者が多くなることが予想されます。**確実に発表が行えるよう、計画的に、早め（前半回で）の発表を強く勧めます。**

たとえ、希望者が多かったために発表の機会を逃し、結果として全授業回中に発表ができなかった場合でも、活動の実施如何に関わらず、特段の配慮はありませんので注意すること。なお、各回の発表はオンラインでの予約制とします。具体的な発表予約の方法は初回授業で説明します。

履修上の注意点

実習先の選定は履修者自身で行います。履修者自身で実習先に実習のお願いをし、必ずアポイントメントを取ってください。また例年、活動の参加を先延ばしにした結果、直前になってアポイントメントを取ろうと応募して断られるケースが多発しています。必ず早めに実習先を探し、自身の責任で事前にアポイントメントを取って活動を行うこと。また、実際に活動した日時等詳細は必ず記録すること。そして、**実習には積極的かつ誠実に参加し、くれぐれも失礼の無いようにすること。**

学習上の助言

江別市内4大学をはじめとする市内関係団体（11団体）と道内の8つの自治体が参画する、学生地域定着推進広域連携協議会「ジモ×ガク」は、地域活動や、ボランティア、インターンシップなどを紹介しています。また、本学のキャンパスサポートセンター（担当事務局：学生支援課学生支援係）は、パソコンテイクをはじめとした、障がいをもつ学生に対する学習支援を行っています。そのほか江別市に限らず、さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぼ」の掲載先や、他の自治体の公的機関、NPO・NGO、地域コミュニティ、ボランティア組織など、地域社会を支える主体であれば問題ありません。例えば、札幌刑務所などでもインターンシップの募集があります。あるいは複数の実習先や、複数回の実習活動を組み合わせても構いません（単位認定の対象となる活動は後述の通り）。

成績評価および単位認定について

下記の3点の成績から総合的に評価する。各項目の詳細は後述の通りとする。

なお、**3点のうちいずれか1つでも怠った場合には単位認定が行われない**。

- | | |
|----------------------|-----|
| ① インターンシップ活動（15時間以上） | 20% |
| ② 活動内容のプレゼンテーション | 40% |
| ③ 活動報告書（最終レポート） | 40% |

（合計 100%）

① インターンシップ活動

前年度2月から授業履修年度1月までの間で、合計で15時間以上のインターンシップ活動の実施を義務付けます。単位認定の対象となる活動は下記の通りです。なお、企業等の営利組織での活動、宗教団体等での宗教的活動、政党又は後援会事務所等での政治的活動、および、その他本授業の趣旨に沿わない活動は原則対象外とします。活動が対象となるかが不明な場合には担当教員に相談して下さい。

I. 地域社会を支える無償の活動全般

II. 学内で行う次の活動に限り、有償だが対象とする

- i. 本学サポートセンターの支援学生制度にもとづく、障がいをもつ学生のパソコンテイクや介助等
- ii. オープンキャンパスでの模擬裁判（模擬裁判担当教員の依頼による）

② 活動内容のプレゼンテーション

活動内容に関するプレゼンテーションを授業内で実施することを義務付けます。プレゼンテーションに際しては、発表用スライドを事前に担当教員へ提出し、それにもとづいて行います。具体的な発表の内容や発表時間等については初回授業で改めて指示します。

発表項目や発表時間などの要件を守れているか、参加した活動の趣旨・意義および実際の活動内容について第三者にも分かりやすく説明できているか、活動を通じて学んだ地域社会の課題がどのようなものを理解しているか、などの点から評価します。

③ 活動報告書(最終レポート)

第15回授業終了後に、活動内容に関する活動報告書（最終レポート）の提出を義務付けます。報告書の内容や提出方法等については初回授業で改めて指示します。

活動報告書の体裁や書式を守れているか、参加した活動の趣旨や意義を分かりやすくまとめているか、活動を通じて学んだ地域社会の課題や求められる解決策を自らの言葉で論理的に説明できているか、そして地域社会活動のあり方についての考えを具体的に述べているか、などの点から評価します。

クラス内の方針

【障がいをもった学生の学習支援】

障がいをもった学生については、本学の基本方針に基づき、インターンシップ活動、活動報告書の作成および活動内容のプレゼンテーションを支援できるような授業方法等について検討し、対応します。支援を希望する場合には、担当教員に連絡してください。

担当教員

| | |
|------------|----------------------------|
| 氏名 | 堀池 航洋（ホリイケ コウヨウ） |
| 専門分野 | 行政学 |
| Email アドレス | horii-k@e.sgu.ac.jp |
| 個人研究室 | A号館5階502 |
| オフィスアワー | 火曜日・水曜日 12:20-13:00（要事前連絡） |

| 授業のスケジュール | |
|--------------------|---|
| [事前ガイダンス (3/29)] | 授業の全体概要の説明、注意事項等の確認 |
| 第 1 回 (9/25) | イントロダクション (授業内容、プレゼンテーションの手続き、活動報告書等の確認) |
| 第 2 回 (10/2) | 活動報告プレゼンテーション (1) |
| 第 3 回 (10/9) | 活動報告プレゼンテーション (2) |
| 第 4 回 (10/16) | 活動報告プレゼンテーション (3) |
| 第 5 回 (10/23) | 活動報告プレゼンテーション (4) |
| 第 6 回 (10/30) | 活動報告プレゼンテーション (5) |
| 第 7 回 (11/6) | 活動報告プレゼンテーション (6) |
| 第 8 回 (11/13) | 活動報告プレゼンテーション (7) |
| 第 9 回 (11/20) | 活動報告プレゼンテーション (8) |
| 第 10 回 (11/27) | 活動報告プレゼンテーション (9) |
| 第 11 回 (12/4) | 活動報告プレゼンテーション (10) |
| 第 12 回 (12/11) | 活動報告プレゼンテーション (11) |
| 第 13 回 (12/18) | 活動報告プレゼンテーション (12) |
| 第 14 回 (1/8) | 活動報告プレゼンテーション (13) |
| 第 15 回 (1/15) | 活動報告プレゼンテーション (14) |
| | <u>活動報告書 (最終レポート) 提出日 (17:00 締切)</u> |

*その他活動報告などに関して相談したいことがある場合には、授業後に担当教員に声をかけるか、メールで連絡して下さい。